

## 山科区におけるモビリティ・マネジメント（MM）の取組について

## 1 住民活動による京阪バス生活路線の歩み

## (1) 鏡山循環バス

平成 8年 3月 鏡山学区から山科駅への京阪バスの  
路線が廃止される

平成19年 ~ 急速に高齢化が進む中で路線バス  
復活の声が高まり、鏡山学区自治連合  
会を中心に署名活動を開始

平成21年 6月 地域住民4,118筆の署名を添えて、  
路線バス復活の要望書を鏡山学区自治  
連合会が京阪バス及び京都市交通局に  
提出

その後も「山科区公共交通問題研究会」及び「山科区公共交通利用促進協議会」等を通じ、継続して京阪バスへの働きかけを行う

平成25年 3月 鏡山循環バス実証運行が開始される（2便/日）

本格運行への移行には1便平均20人以上の利用者数が必要とされたことから、鏡山学区自治連合会を中心に地域と連携したMM活動を開始

平成27年 3月 MM活動の結果、利用者数が1便平均28人に達し、本格運行へ移行

12月 鏡山学区自治連合会から京阪バス及び交通局に対して増便の要望を提出

平成29年 9月 MM活動が評価され、鏡山学区自治連合会及び山科区役所が交通関係環境保全優良事業者等表彰を受賞

10月 昼間便が実証運行として増便され、1日3便となる

令和 元年12月 国土交通大臣より、鏡山学区自治連合会及び山科区役所が交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰を受賞

令和 2年10月 昼間便の実証運行が本格運行へ移行



## (2) くるり山科

平成14年 3月 京阪バス株式会社が山科循環線  
「くるり200」の運行を開始  
(12便/日)

平成18年 4月 山科駅への乗り入れ開始  
「山科団地前」「西野山階町」バス停  
開設

平成26年 4月 「くるり山科」に改名

平成29年 2月 西野学区自治連合会から京阪バス  
及び交通局へ増便の要望を提出

10月 最終便が実証運行として増便され、13便/日となる

本格運行への移行には安定した利用客数の確保が必要であることから、山階南学区自治連合会及び西野学区自治連合会による地域と連携したMM活動が開始される

令和 2年10月 最終便の実証運行が本格運行へ移行



(3) 小金塚循環バス

平成17年 小金塚自治連合会から公共バス導入等を求める要望書が京都市へ提出される

平成19年 小金塚自治連合会による「まちづくり計画策定委員会」発足

小金塚自治連合会と京都市が協力し、バス導入を見越して域内私道の京都市里道への指定を開始

平成21年 3月 小金塚自治連合会が「小金塚地域の安心・安全まちづくり計画」を策定し、公共交通を重点プロジェクトに掲げる

平成24年 里道指定後に速やかにバスを導入できるよう、地元住民及び関係機関による「小金塚地域公共交通導入検討会議」を立上げ、実際にバスを走らせる交通社会実験及びアンケート調査を実施し、京阪バスとの協議を進める

平成28年 5月 バス路線想定ルートが里道指定された

平成31年 3月 小金塚循環バスの実証運行を開始  
(平日24便/日、土曜23便/日、休日22便/日)  
地域と連携したMM活動を開始



2 地域と連携したMM活動

(1) 各年度のMM活動

	鏡山循環バス	くるり山科	小金塚循環バス
平成25年	利用者数調査, アンケート, お試し乗車券, 便利ダイヤ		
26年	利用者数調査, チラシ, ポスター, スルッとKANSAIカード交換		
27年	利用者数調査, アンケート, チラシ, 啓発グッズ		
28年	利用者数調査, チラシ, 啓発グッズ, ラジオ出演		
29年	利用者数調査, チラシ, 啓発グッズ, ラジオ出演	利用者数調査, 啓発グッズ, チラシ, 広報誌への掲載	
30年	利用者数調査, 鏡山小学校総合学習, 啓発グッズ, ラジオ出演, アンケート	利用者数調査, 啓発グッズ, チラシ, 広報誌への掲載, アンケート	チラシ, 敬老乗車証取得の呼びかけ
令和 元年	利用者数調査, 鏡山小学校総合学習, 啓発グッズ, ラジオ出演	利用者数調査, 啓発グッズ, チラシ, 広報誌への掲載	利用者数調査, 切取式時刻表, チラシ
2年	鏡山小学校総合学習, 子ども車内アナウンス, 啓発グッズ, チラシ, アンケート	啓発グッズ, チラシ	利用者数調査, 健康イベント, 親子体験乗車, チラシ

## (2) 各自治連合会の主なMM活動

### ① 利用者数調査

各自治連合会では利用者の実態を把握するために、定期的に年数回程度の利用者数調査を行っている。  
(コロナ禍のため鏡山、くるりは令和2年度から休止中) 直近の調査での1便当たり平均利用者数は以下の通り。自治連合会役員がバスに乗り込み実際の利用者数をカウントしている。

鏡山循環バス	25.8人/便	(令和2年1月20～26日)
	20.3人/便	(令和3年11月8～14日)
くるり山科	28.4人/便	(令和元年6月26日, 7月12日, 8月16日)
小金塚循環バス	6.4人/便	(令和3年5月14日, 7月16日, 11月5日)

### ② チラシ、啓発グッズの配布

各自治連合会ではチラシ及び啓発グッズを作成し、地域のイベント等での配布や、回覧を行うことでバスの認知度を高め利用促進を行っている。



(令和元年9月29日 西野学区自治連合会主催 「西野まつり」)



(令和元年12月8日 山階南学区自治連合会主催 「ふれあい広場2019」)



(令和元年12月21日 鏡山学区自治連合会主催 「鏡山もちつき大会」)



(令和元年 小金塚自治連合会作成)



(令和2年 山科路線バス対策連絡協議会作成)

### ③ 鏡山小学校総合学習

鏡山学区自治連合会では、平成30年から鏡山小学校3年生総合学習の地域の課題を考える時間の中で、自治連合会会長岩崎氏がバス博士として、高齢化が進む地域における路線バスの重要性と鏡山循環バス復活に至る取組みについての授業を行っている。また授業後は体験乗車を行い、乗客との交流を通して実際のバスを実感してもらい、また年末に行われる自治連合会主催「鏡山もちつき大会で総合学習では研究内容を掲示したブースを設けるとともに児童代表が研究報告を行っている。



(令和元年5月15日 総合学習)



(令和元年6月20日 体験乗車)



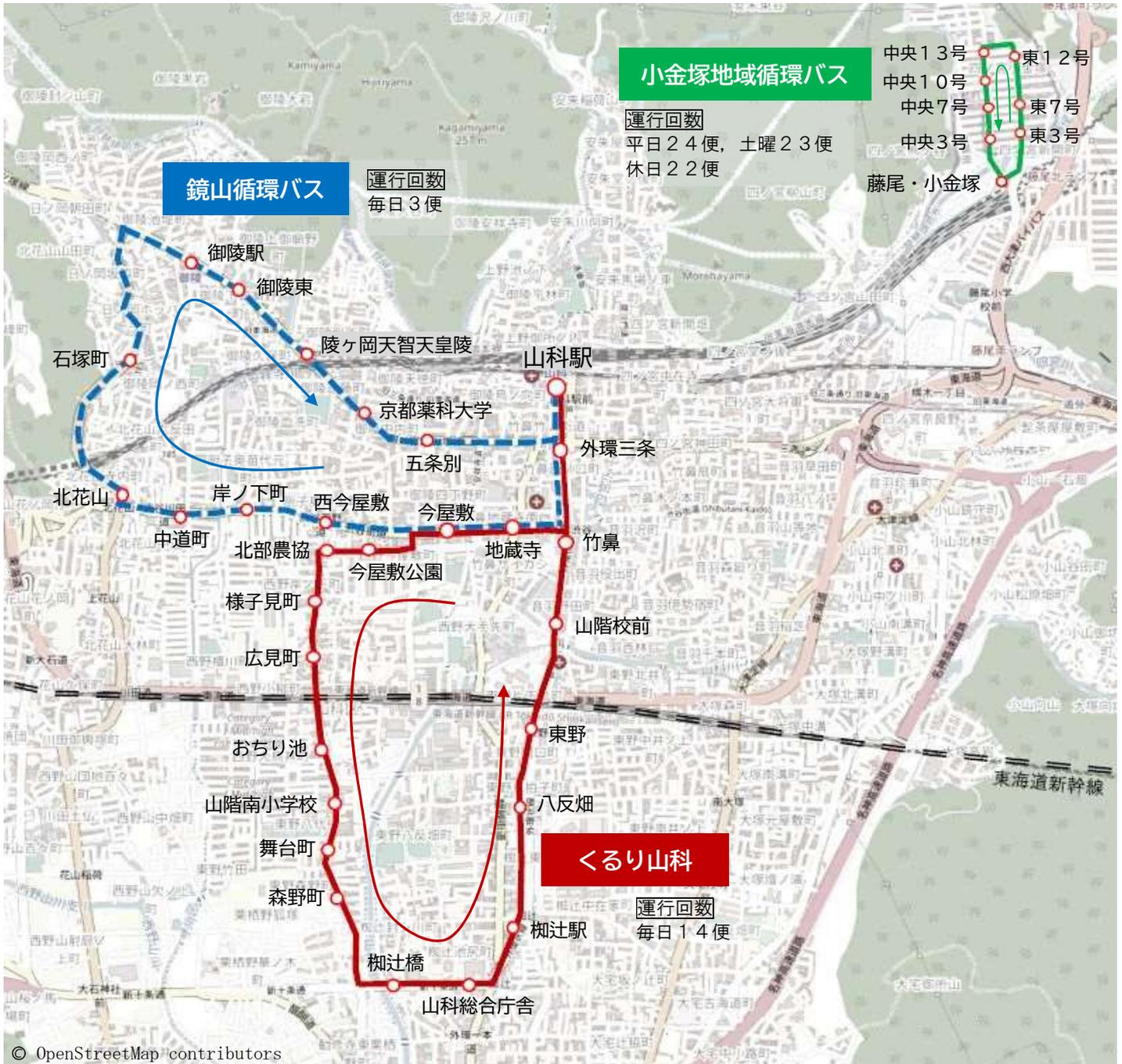
(令和元年12月21日  
餅つき大会でのブース発表)

### ④ 子ども車内アナウンス

鏡山学区自治連合会、鏡山小学校、京阪バス株式会社が連携し、鏡山小学校5年生33名による車内アナウンスの録音を行った。子どもたちによる元気のよい声でバス停名および乗換え等の案内のアナウンスが、令和2年12月から鏡山循環バス車内に流れている。



(参考) 鏡山循環バス・くるり山科・小金塚地域循環バスの路線図



© OpenStreetMap contributors

この地図は、以下の著作物を改変して利用しています。

OpenStreetMap (<https://www.openstreetmap.org/>)

クリエイティブ・コモンズ・ライセンス

表示-継承 2.0 一般 (CC BY-SA 2.0)

<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/2.0/deed.ja>